

No.2022-14

発行:2022年2月9日

当社初の市販用 EV タイヤ DUNLOP「e. SPORT MAXX」を中国で新発売

～当社史上最高レベルの低燃費(電費)性能を実現～

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、当社史上最高レベルの低燃費(電費)性能を誇る当社初の市販用 EV タイヤ DUNLOP(ダンロップ)「e. SPORT MAXX(イースポーツマックス)」を、EV 化が急速に進む中国市場で4月から発売します。また、同様に EV 市場が拡大する欧州でも、市販用 EV タイヤとして FALKEN(ファルケン)「e. ZIEX(イージークス)」を2023年から発売する予定です。



e. SPORT MAXX

この EV タイヤを開発するにあたり、当社が最も力を入れたのが低燃費(電費)性能と静粛性能の追求です。EV が一回の充電で走れる航続距離を伸ばすためには、転がり抵抗を低減し電費を抑えることが求められます。当社が持つ材料開発技術を活かしゴムの配合を工夫することで、当社史上最高レベルの低燃費(電費)性能を実現し、さらにウェット性能と操縦安定性能を高次元で両立させています。

また、EV はエンジン音がしないため路面やタイヤからのノイズを感じやすいと言われていますが、当社独自の「サイレントコア(特殊吸音スポンジ)※1」を搭載することで優れた静粛性を実現しています。さらに、タイヤ自体を軽量化することによって省資源化を図り、環境負荷の低減に貢献します。

性能面に加え、サイドウォールのロゴには当社独自の黒色デザイン技術「Nano Black(ナノブラック)※2」を採用し、デザイン性も追求しました。ユーザーのさまざまなニーズに対応しつつ、当社史上最高レベルの低燃費性能を誇る EV タイヤとなっています。

EV 市場は世界的な環境意識の高まりと共に近年急激に拡大しています。その中でも、中国政府および欧州委員会は EV の導入比率や CO₂ 削減量に対して高い目標を掲げており、世界有数の EV マーケットとなっています。このような市場環境を踏まえ、当社は初の市販用 EV タイヤを中国市場で先行投入することを決定しました。2023 年からは欧州での発売も予定しており、今後も順次発売地域を拡大していきます。

当社は 2021 年 8 月にサステナビリティ長期方針「はずむ未来チャレンジ 2050^{※3}」を発表し、これまでも環境問題の解決に取り組んでまいりました。今回の「e. SPORT MAXX」の発売はこの長期方針に沿った製品であり、EV の電費改善および当社で使用する資源の削減を通じてカーボンニュートラルの達成を目指します。

※1 ダンロップタイヤ公式サイト「サイレントコア(特殊吸音スポンジ)」

<https://tyre.dunlop.co.jp/brand/technology/sponge/>

※2 独自の黒色デザイン技術「Nano Black」を確立しタイヤ側面のロゴなどの視認性とデザイン性を向上(2021 年 8 月 31 日リリース) https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2021/sri/2021_068.html

※3 サステナビリティ長期方針「はずむ未来チャレンジ 2050」を策定(2021 年 8 月 5 日リリース)

https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2021/sri/2021_060.html

以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 TEL:0120-39-2788

